

中播磨県民センター地域創生アクション・プラン

(1) 人口対策

中播磨地方は、郡部を中心に全域で人口が減少し、特に進学・就職を機に20歳代の流出が顕著となっている。このため、地元のものづくり産業などの企業と人材のマッチングによる若者の地元就職の促進、農業における新規参入の促進、就農定着のための農地確保や後継者育成、製品の販路開拓などの支援による就農等の拡大を図る。加えて、「人の輪」のつながりの強化や安全・安心な暮らしの環境づくりの推進により、若い世代が安定した就業と生活のもと、将来に希望を持って、結婚、出産し、安心して子育てをすることができるふるさとづくりを目指す。

ア) 若者の地元就職の促進

【総括 KPI】

- ・ 中播磨の新卒高校生の管内就職割合 : 60% [H25 : 48%]
- ・ 中播磨地域における認定農業者数（農業の担い手）: 95人 [H26 : 88人]
- ・ 中播磨の若者の転出入超過数

15～19歳	:	▲100人	[H26 : ▲120人]
20～24歳	:	▲320人	[H26 : ▲402人]

【主な事業】

(1) 企業の人材確保支援

- ものづくりを支える人材確保支援事業（200千円）

中播磨地域に集積するものづくり産業に係る中小企業の活性化を図るため、地元高校生が地元ものづくり企業を知る機会を提供し、その魅力を紹介することで、地元企業の人材確保を支援する。

- ・ 中播磨地域の高校生を対象にした企業紹介セミナー

実施時期：平成31年7月、12月（予定） ※31年度は2回開催

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
セミナー参加者数 (人)		300	300	300	300	300
	-	291	377	357	564	

- 各種就職相談会・面談会の開催

地域雇用の確保のため、国、県、市の連携による就職相談、面接会を実施し、地域雇用の確保に努める。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
面接会参加者数 (人)		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	-	2,327	2,452	2,282	2,414	

(2) U・J・I ターン対策

- 大都市圏の大学キャリアセンター（就職部）と連携した地元企業PR作戦（1,650千円）
中播磨のものづくり企業の紹介や、地元で働く魅力を本音で伝える「帰ってこい」メッセージ集や中播磨地域の企業の働きやすさ指標等の詳細情報をWEBで発信する。
平成28年度～30年度については、民間大手就活サイト「キャリアタス就活」内に特集ページ「ええやんナカハリマ」を開設。平成31年度からは、長期的に安価で情報発信を行うため、姫路市、姫路経営者協会と連携し、独立したページとして播磨地域就職支援サイトを開設予定。企業紹介に加え、就活イベント等も併せて発信する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
WEB掲載企業数(社)	-	-	20	40	60	80
		-	48	68	78	

- 理系大学生を対象とした「中播磨地域ものづくり企業見学ツアー」の実施（4,000千円）
中国・四国地方など近隣の大学で、兵庫県出身者の多い大学の理系大学生をターゲットとしたバスツアーを開催するとともに、九州地方など遠方の理系大学生をターゲットとした出張企業説明会を実施する。
・企業見学バスツアー：5大学予定
・出張企業説明会：2箇所予定

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
ツアー等参加者数(人)	-	40	40	40	60	60
		37	42	97	53	

(3) 若者の雇用の場の確保と能力向上

- 園芸・畜産生産拡大による新規就農者の早期経営安定（6,000千円）
新規就農者の多くは生産基盤が脆弱であることから、周年生産や規模拡大に向けた生産基盤の整備を支援し、早期経営安定化を図る。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
新規流通件数(累計)	-	3	8	10	12	13
		7	10	12	16	

- 中播磨木造インターンシップによる技術継承支援（550千円）
中播磨地域の大工、左官、瓦葺き技能者等の伝統的木造技術を持つ職人組合等と協働して、若年層の技術者を対象とした技術伝承の機会を創出する技術継承事業を支援するとともに、職人組合及び地区住民等との地域間交流と活性化の促進を図る。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実習参加者数(人)	-	25	25	25	25	25
		30	27	21	26	

イ) 暮らしやすさ No. 1 のふるさとづくり

【総括 KPI】

- ・住んでいる地域は子育てがしやすいと思う人の割合（県民意識調査）
：60% [H26：48.7%]
- ・健康寿命（県健康づくり推進実施計画 中播磨圏域計画）
：男性 78.25 歳、女性 83.67 歳 [H25：男 77.25 歳、女 82.67 歳]
- ・地域の災害に対する備えは以前より確かなものになっていると思う人の割合（県民意識調査）
：45% [H26：31.9%]

【主な事業】

(1) ふるさと意識、地域への愛着の醸成

○地域文化継承応援事業（1,000 千円）

地域団体が行う中播磨の伝統文化や郷土史、食文化など「地域の文化」を次世代に伝える事業に対して助成を行い、地域の賑わいづくりを支援する。

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
応募数 (件)		-	6	6	15	6
	-	-	9	9	10	

※30 は県民連携事業を含む

○地域づくり活動応援事業（一般枠・特別枠）（7,700 千円）

地域団体等が実施する地域の課題解決につながる取り組みや団体の活性化のために行う取り組み（県民提案型協働事業）を支援することにより、地域を活性化し、まちの賑わいづくりを推進する。

※特別枠：年度ごとにテーマを設定

H31 年度は地域文化継承応援事業(再掲)、「銀の馬車道」魅力UP 事業

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
応募数 (件)		40	40	40	55	40
	-	34	52	46	106	

※29 (実績) 30 は県民連携事業を含む

○地域活動交流メッセの開催（1,280 千円）

地域の魅力発信、元気なコミュニティづくりに取り組む地域団体の活動発表・情報交換を通じて、地域づくり活動の活性化を支援する。

・実施時期：平成 30 年 10 月 28 日（日）

・実施内容：地域づくり活動発表・展示、地域の特産品見本市 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
メッセ参加 者数 (人)		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	-	7,000	4,000	(雨天のため中止)	5,000	

(2) 安心の医療・福祉・健康ネットワークの構築

○ 看護師病院合同就職説明会

地域の医療を支える人材確保が課題であるため、課題を共有する看護協会、民間病院協会等との連携のもと、看護人材の確保に向けた就職説明会等を重層的に開催する。

なお、平成 31 年度は看護師病院合同就職説明会のみ実施（看護系学校合同進学説明会は廃止）。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
説明会等参加機関数 (機関)		60	60	60	60	60
	-	62	58	62	58	

○ 地域包括ケアシステム推進の支援（138 千円）

神崎郡 3 町が、連携して地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを進めていくことができるよう郡及び圏域の地域包括ケア推進会議などを開催するとともに、市町や医療関係団体等との連携調整等を支援し、郡内・圏域全体を見渡した広域連携システムの構築をめざす。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
会議等参加機関数（機関）		70	70	70	70	70
	-	82	70	70	71	

○ 中はりま “はばたけ授産品コンクール” の開催と販路拡大（1,300 千円）

管内の障害福祉サービス事業所で生産する授産品のコンクールを開催し、優秀作品を選定するとともに、選定された授産品を中心に県主催イベント等で配付する。また、管内の障害福祉サービス事業所と授産品紹介冊子を作成するとともに、ホームページ等を通じた県民への PR や、道の駅等に授産品の販売依頼を行うなど、授産品の販路拡大を支援することにより、障害者の社会参加の促進、工賃向上を目指す。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
コンクール参加機関数 (機関)		20	20	20	20	20
	-	19	21	22	16	

○ もちむぎの機能性（豊富な食物繊維、血圧上昇抑制、血中コレステロール低下）を生かした食品の普及と産地育成に向けたフォーラムの開催（700 千円）

生産性向上のための栽培技術の改良や、機能性食品としての商品開発と需要拡大を図ることにより、もち麦産地のブランド力に取り組んでいく。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
フォーラム開催数 (回)		1	1	1	1	1
	-	1	1	1	1	

(3) 安全・安心のまちづくり

○ 南海トラフ巨大地震対策

・津波防災インフラ：八家川水門、姫路港中島護岸補強等 16 箇所

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
箇所数 (累計)		3	8	9	9	16
	-	3	7	9	14	

・橋梁耐震補強：生野橋等 11 橋梁

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
箇所数 (累計)		3	7	7	7	11
	-	3	4	5	7	

○ 風水害対策

・山地防災、土砂災害：福田川等砂防・急傾斜 (22 箇所)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
箇所数 (累計)		-	1	5	9	22
	-	-	1	3	9	

・治水対策の推進：市川（阿成工区、砥堀暫定対策）船場川（姫路競馬場調節池）

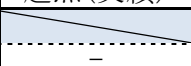
KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
箇所数 (累計)		1	2	3	3	3
	-	1	2	2	3	

・ため池等整備事業：17 箇所

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
箇所数 (累計)		-	3	6	10	17
	-	-	3	6	10	

○ 地域防災力向上対策

・防災道路強靱化：西脇八千代市川線等 9 カ所

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
箇所数 (累計)		2	5	5	5	9
	-	2	4	5	5	

・インフラ・メンテナンス：排水機場・水門（早期対策（A）3カ所）、橋梁（早期対策（特A）10橋梁）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
箇所数 (累計)		9	11	11	11	13
	-	8	10	11	11	

・ため池安全・安心定期点検の実施（ため池管理者講習会実施）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
講習会参加 者数(人)	-	80 71	80 80	80 77	80 224	80

・地域住民の防災・減災意識の啓発（講演会等実施）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
講演会等参 加者数 (人)	-	200 300	200 280	200 250	200 258	200

・地域防災活動の活性化（中播磨防災リーダーのスキルアップと実践活動の展開）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
フォローア ップ講座受 講者数 (人)	-	- -	50 41	50 42	50 44	50

○ 便利で快適な公共交通の実現

・駅周辺アクセス道路の整備促進：JR福崎駅（甘地福崎線）、JR香呂駅（宍粟香寺線）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
箇所数 (累計)	-	0 0	2 2	2 2	2 2	2

・地域公共交通（コミュニティバス等）への運行支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
住んでいる地域の公共交 通は便利だと思う人の割 合(%)	45.9 (H26年 度)	48.5 48.5	49.6 50.7	50.7 52.1	51.7 49.2	52.8

・バス路線の利便性・安全性の向上：岩屋生野線（岩屋）、大柳仁豊野線（東）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
箇所数 (累計)	-	- -	1 1	1 1	1 1	2

(2) 地域の元気づくり

中播磨地域は、多彩な自然に恵まれた地域であり、道路、鉄道、港湾が整備され、暮らしやすい環境が整っている反面、中播磨地域を象徴する一歩抜き出た要素が見えにくく、「ものづくり」や「農林水産業」、「観光・ツーリズム」の推進を基軸に、地域の優れた資源を際立たせ、ブランド化を図っていく必要がある。

このため、産学連携による「ものづくり」企業の競争力の向上、社会インフラの充実、農林水産業の活性化を通じた都市と農山漁村の交流の拡大を図るほか、播磨全域を視野にテーマ性・ストーリー性を持った「広域観光周遊ルート」を形成し、通過型から滞在型へ、観光・ツーリズムの新たな展開を図る。

ア) 播磨を支える産業競争力の強化及び産業インフラの構築

【総括 KPI】

- ・ 県立大学の管内企業との共同研究件数 : 20 件 [H26 : 10 件]
- ・ 中播磨における新規・増設企業立地件数 : 10 件 [H26 : 9 件]

【主な事業】

(1) 産学官連携の推進による企業の経営革新

- 産学官連携による「産業力」強化 (1,600 千円)

・ 「企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 2019」(仮称)

実施内容 : 製品や技術、研究シーズの展示・発表 等

実施時期 : 平成 31 年 11 月 (予定)

(上段 : 目標、下段 : 実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
来場者数 (人)		600	650	650	650	650
	-	600	700	700	650	

- ・ 研究室ツアー事業 (ラボ交流ツアー)

産学連携を模索している企業が、県立大学工学研究室を直接訪問し、研究装置を見学しながら、研究内容をわかりやすく説明を受けるなど、大学研究を来て・見て・知ってもらおうツアーを実施する。

- 大企業とのマッチングによる地元企業の販路拡大

地元中小企業の取引拡大を図るため、ひょうご産業活性化センターと連携して、県外の大企業と地元中小企業との取引商談会を開催する。

- ・ 大企業が発注企業として参加した取引商談会の開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
参加(発注)大企業数 (社)		-	3	3	15	15
	-	-	3	3	15	

※30 以降は国際フロンティア産業メッセ取引商談会への中播磨企業の参加数

(2) 多様な産業活動を支える社会基盤の充実

○ 播磨臨海地域道路の早期実現

播磨臨海地域道路は、国道2号バイパスの渋滞解消、災害時のリダンダンシー確保とともに、ものづくり拠点である播磨臨海地域の発展に不可欠である。平成28年5月に整備の「優先区間」、「当面、都市計画・アセスを進める区間」が決定した。「計画段階評価手続き」の早期完了等を国に要望するなど、本道路の早期実現に向け取り組む。

○ 地域間交流を促す道路の整備促進

岩屋生野線（岩屋）、久畑香呂線（恒屋）、大柳仁豊野線（東）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
箇所数 (累計)	-	-	1	1	1	3
	-	-	1	1	1	

○ 姫路港における港湾機能の充実（岸壁・埠頭用地の整備）

背後地の工業地帯を支える港湾として、貨物船の大型化や企業活動の展開による新たな貨物需要への確に対応するため、5万トンクラスの貨物船が入港可能な大水深公共岸壁（-14m）及び埠頭用地の整備に向け取り組む。

・整備面積等

岸壁（-14m）：280m

埠頭用地：4ha

イ) 都市と農山漁村との交流拡大

【総括 KPI】

- ・中播磨地域における都市農村交流施設利用者数：700千人〔H25：575千人〕
- ・中播磨地域における農産物ブランド戦略策定品目数：12品目〔H25：8品目〕

【主な事業】

(1) 生産者と消費者の交流の場づくり

○ 食と農で結ぶ夢街道づくり事業（4,200千円）

夢前スマートインターチェンジの開通をふまえ、夢街道（県道姫路神河線の沿線）の豊かな自然で育まれた農産物や塩田温泉などの観光資源をPRすることで、交流人口の拡大を図り、農業振興と地域の活性化を図る。

・田んぼを活用したイベント開催、郷土食の発掘

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
観光客数 (千人)	475 (H25年 度)	490	500	510	520	530
		450	402	375	362	

○食と農と健康の郷づくり

「食・農・健康」をテーマに、都市住民との交流活動や地域農産物の活用、地域企業との医農福連携による仕事・生きがいを支援し、高齢者がいきいきと働き、生活できる地域を形成する。

- ・地元農産物等を活用した健康レストランを核とした交流活動、高齢者の参画によるハーブ等の栽培や新たな特産品づくり、ハーブ等の栽培体験や「食と農と医のシンポジウム」の開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
シンポジウム等 交流会参加 者数(人)		300	1,500	1,500	1,500	1,500
	-	1,476	8,231	2,468	1,512	

(2) 中播磨の魅力ある農林水産ブランドの確立

○ “播磨灘産かき” PR大作戦事業 (2,000 千円)

良質で加熱しても縮みにくい播磨灘産の大粒生カキ・大粒冷凍カキを、「播磨のかき」として首都圏・京阪神でPRしブランド化を図るとともに、種苗の採取から生ガキ生産までを播磨灘で行う“純播磨灘産かき”の生産を目指す。

- ・公共交通機関等使ったPR、産地PRのためのポスター等の作成・配布、播磨灘産かきのフェア等の開催、新商品の開発試験

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
商談件数 (累計)		30	45	50	55	60
	-	40	60	60	63	

○ ひめじの前どれ海の幸グレードアップ作戦 (6,000 千円)

「華姫さわら」や「白鷺鱧」のブランド力の向上に取り組むとともに、サバやアサリ、サーモン等の品目を新たに特産化し、前どれ水産物の充実を図る。さらに、観光客等が播磨灘の海の幸を味わえる機会を増やすとともに、姫路の名物へとグレードアップを図る

- ・開発予定品目：ハモ、サワラ、カラスミ、サーモン、アユ等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
商品開発件 数(累計)		1	2	3	4	5
	-	1	2	3	4	

(3) 農山漁村の魅力の再認識

○ 地域再生大作戦の推進

アドバイザー派遣、地域活動支援等により、がんばる地域を応援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施地区件 数(累計)		2	4	6	8	10
	-	6	6	7	6	

ウ) 播磨ツーリズムエリアの形成

【総括 KPI】

- ・中播磨地域における観光入込者数：12,000 千人〔H26：10,022 千人〕
- ・中播磨地域における観光宿泊者数：1,000 千人〔H26：840 千人〕

【主な事業】

(1) テーマ、ストーリーのある観光拠点の創出

- 中播磨地域全体への更なる誘客を図るための情報発信を継続して行い、宿泊を伴う中播磨への来訪者の増加、中播磨観光施設の周遊及び滞在時間の延長を目指す。(5,631 千円)
雑誌、web サイト、旅行会社を活用した播磨全域を視野に入れた広域観光ルートのプロモーションを展開する。

銀の馬車道の姫路城、竹田城も含めた戦国時代からの歴史的背景や、フランス技師との交流に係るストーリー等を積極的に発信し、城崎温泉、京都、大阪とを結ぶ広域観光ルートとして提案する。

- ・ずっといたくなる中はりま事業
- ・「思わず行きたくなる中はりま」誘客促進事業
- ・「兵庫遺産街道 -Hyogo Heritage Route-」の魅力アップ

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
招聘ツアー 等実施回数 (回)		2	2	2	2	2
	-	2	3	3	4	

○ 観光拠点の創出

大河内高原の冬季イベント開催をはじめとした観光資源の魅力向上、外国人受入体制の強化を推進し、年間を通じた中播磨各地への人の流れを活性化させる。

- ・冬の大河内高原魅力創出プロジェクト

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
冬季大河内 高原宿泊利 用者数 (人)		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	-	3,505	2,370	6,284	5,826	

(2) 姫路港、妻鹿漁港、家島港の観光利用

○ 姫路港観光プロモーション

多国語版のパンフレットを活用し、国内及び外国船社や代理店、クルーズを企画する旅行会社に対し、中播磨の観光地や具体的な観光コースを紹介し、積極的・効果的な誘致活動を展開する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
クルーズ客 船寄港回数 (回)		2	2	2	2	2
	-	2	3	3	2	

- 姫路港ふれあいフェスティバルの開催 (4,000 千円)

「銀の馬車道」の発着点でもある姫路港周辺でフェスティバルを開催し、姫路港の重要性や海の魅力を発信するとともに身近な港としてPRする。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
フェスティ バル参加者 数(人)		9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
	-	9,500	12,000	9,500	15,000	

(3) 海外観光客等の快適性・利便性の向上

○ 安全で快適な通行空間確保、優れた景観の保全・形成

・ 無電柱化実施プログラムの推進：和久今宿線、姫路停車場線

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
箇所数 (累計)		-	0	1	1	2
	-	-	0	0	1	

○ 道路案内標識の英語表記への改善

・ 姫路神河線等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
案内標識改 善枚数 (累計)		123	223	745	1,140	1,140
	-	123	350	670	1,071	